

25年8月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成25年 7月20日～ 8月10日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
8月分の回答企業数は6社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)=[(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)]÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 25/8月 | 9月 | 10月 |
|------|-----|-------|------|--------|
| 入荷動向 | 国産材 | 20.0 | 40.0 | 20.0 |
| | 外材 | 0.0 | 10.0 | 0.0 |
| 在庫動向 | 国産材 | 30.0 | 10.0 | 0.0 |
| | 外材 | 40.0 | 30.0 | △ 10.0 |

ラミナ入荷は国産材は、プラス基調で推移。
外材は8月のゼロ、9月のプラスを経て10月はゼロに。
ラミナ在庫は、国産材はプラス基調で推移、
外材は8,9月のプラスが10月はマイナスに。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

| 品目 | 25/8月 | 9月 | 10月 |
|-----|-------|------|------|
| 国産材 | 30.0 | 10.0 | 0.0 |
| 欧州材 | 40.0 | 20.0 | 30.0 |
| その他 | — | — | — |

国産材ラミナ購入価格はやや強含み、欧州材は強含み、上昇見込み。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き) ・入荷は必要量手当している。在庫はWW出荷少なくするため外材はやや増加。 ・入荷は契約に対し遅れがちも少しまとまって入荷、在庫は増も十分ではない。 ・お盆休み以降のラミナ入荷量が心配、8月在庫増は7月の製品荷動き悪かったことによる、9月以降は在庫量は減少見込み。入荷はピークが終わるので徐々に入荷は減ってくる。在庫は横ばいです、

(ラミナ価格動向) ・現地価格上昇中。 ・契約価格、為替のダブルパンチで購入価格上昇中。 ・8月から新規仕入先を増やしたことと仕入れ量確保のため価格はやや高くなった。 ・国産材は出材が不調なため上がり気味。 ・フォースクォーターは下がると思う。

25年8月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

| 品目 | | 25/8月 | 9月 | 10月 |
|------|---------|--------|--------|------|
| 生産動向 | 国産材 | 40.0 | 40.0 | 20.0 |
| | WW集成管柱 | △ 16.7 | △ 16.7 | 0.0 |
| | RW集成平角 | 10.0 | 20.0 | 20.0 |
| | 米マツ集成平角 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | WW集成平角 | — | — | — |
| 出荷動向 | 国産材 | 40.0 | 40.0 | 50.0 |
| | WW集成管柱 | △ 16.7 | 0.0 | 16.7 |
| | RW集成平角 | 0.0 | 0.0 | 10.0 |
| | 米マツ集成平角 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | WW集成平角 | — | — | — |

集成材生産動向は国産材、RW集成平角はプラス基調で推移、WW集成管柱は8,9月のマイナスから10月はゼロに、米マツ集成材平角は横ばい。
集成材出荷動向は、国産材はプラス基調で推移、WW集成管柱は8月のマイナスから9月のゼロを経て10月はプラスに、RW・米マツ集成平角は総じて横ばいも10月にRWがプラスに。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

| 品目 | 25/8月 | 9月 | 10月 |
|----------|--------|------|------|
| スギ集成管柱 | 0.0 | 12.5 | 25.0 |
| ヒノキ集成柱 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| ヒノキ集成土台 | 25.0 | 0.0 | 0.0 |
| カラマツ集成土台 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| WW集成管柱 | 0.0 | 16.7 | 33.3 |
| RW集成平角 | △ 12.5 | 12.5 | 25.0 |
| 米マツ集成平角 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| WW集成平角 | — | — | — |
| 米ヒバ土台角 | — | — | — |
| カラマツ集成平角 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

集成材出荷価格は、スギ管柱、WW管柱は8月のゼロから9,10月はプラスに、ヒノキ柱、カラマツ土台・平角、米マツ平角は横ばいで推移、ヒノキ土台は8月のプラスから9,10月は横ばい、RW平角は8月のマイナスから9,10月はプラスに。

モニターからのコメント

(構造用集成材荷動き) ・国産材集成材は木材利用ポイント向け生産・出荷が多くなる見込み。WWは市場に余り気味だが9月後半からモノが少なくなると見る、RWはハウスメーカーが依然好調、9,10月がピークと予想。 ・市場で輸入製品少しだぶつき始めた、製品生産調整少し行う。出荷も一部の客の動き鈍化。 ・木材ポイントで問い合わせ増加、柱・横架材等で実需出てきて荷動き増加傾向、老人健康施設等の非住宅分野の物件の他、H25地域型住宅ブランド化事業により中断面に受注増が見込まれる、なお土台(AQ)は受注好調。徐々に出荷量は増加傾向。但し、依然職人不足でプレカット工場からの現場搬入遅れで在庫消化思うように進まず、期待したほどの荷動き出ない。 ・国産材製品は木材利用ポイント関係で微増、思ったほどでない。 ・出荷は先月と同様。

(構造用集成材出荷価格動向) ・ヒノキは安定、WW、RWは現地価格が上がるため、やや上昇と予想。 ・市場でのダブツキ感あるが秋に向け需要増えそう。 ・需給バランスから輸入材も部材によって天井感が出ており、値上げが通るムードでない、過去2回の値上げでコストup分は吸収しており当面現単価をキープしたい。 ・先月と同様です。